



令和2年6月 No.310

学 校 だ よ り

中央区立京橋築地小学校
東京都中央区築地2丁目13番1号

新学期の再出発にあたって

校長 平山 尚彦

6月1日より学校を再開することとなりました。長きにわたる臨時休校期間中、保護者のみなさまには大変なご心配とご負担をおかけいたしました。ご家庭での学習、学校からの電話連絡、オンラインによる朝の声かけへのご対応ほか、多大なご配慮とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

これまでに経験したことのない今回の事態の中で、非日常が日常となり、今まで当たり前とっていたことのありがたさを感じました。特に、さまざまな方々と、同じ時間と空間を共有できることがいかに大切で幸せなことであったのかと。私もこのところ、オンライン〇〇というものをしばしば活用しました。新鮮な楽しさとその機能のすばらしさに、技術の発達のありがたさと今後の活用への可能性を感じました。一方で、画面越しの対話に感じた、何かがちょっと足りない…？との思いに、同じ場所で直接顔を合わせ、話すことの意味を再認識した次第です。

また、気付けば非日常が当たり前になり、ものの考え方の土台がずれてきていることに、はっとすることも増えました。危機を乗り切るために発想の転換は大切ですが、ぶれてはいけな心を見失ってはならないと思いました。さまざまな立場の方々の思いを受けとめ、心おだやかに寛容であることを肝に銘じていきたいと思ひます。

学校の再開にあたり、子どもたちが待ち望んでいた大きなものに、友達や教員との再会があると思ひます。感染防止への対策を大前提に、直接顔を合わせ、時間と空間を共有できるかけがえのない場を大切に、子どもたちが楽しく学べる場をつくってまいります。

あわせて、子どもたち一人一人が心おだやかに、友達とのよりよい関係を築いていけるよう、相手の立場や気持ちに思いをはせ、共感することを大切にしたい学校づくりに取り組んでまいります。

子どもたちの健康と安全を第一に、全職員で感染防止のできる限りの方策をとってまいります。急な変更やお願いをすることも多々あるかと存じます。ご家庭、地域のみなさまと力を合わせ、子どもたちのために尽くしてまいりたいと考えております。ご理解とご協力のほどお願いいたします。

6月の行事予定

日	曜	主な行事予定
1	月	分散登校Aグループ
2	火	分散登校Bグループ
3	水	分散登校Aグループ
4	木	分散登校Bグループ
5	金	分散登校Aグループ
6	土	
7	日	
8	月	分散登校Bグループ
9	火	分散登校Aグループ
10	水	分散登校Bグループ
11	木	分散登校Aグループ
12	金	分散登校Bグループ
13	土	
14	日	
15	月	全校朝会(放送) 給食始 安全指導日
16	火	身体測定(1・2年)
17	水	身体測定(3・4年)
18	木	身体測定(5・6年)
19	金	
20	土	土曜授業日
21	日	
22	月	全校朝会(放送) 読書週間始 1年給食始
23	火	聴力検査(2・5年)
24	水	避難訓練
25	木	開校記念日
26	金	聴力検査(1・3年)
27	土	
28	日	
29	月	全校朝会(放送) 委員会(6年)
30	火	

「やくそく」について考える

生活指導主任 幸地 裕助

「なぜ、校帽をかぶるのでしょうか。」

私が担当する学級（高学年）の子供たちと話し合ったことがあります。高学年になると、帽子をかぶると髪型が乱れることが気になる年頃になります。子どもたちからは、「熱中症の予防」「京橋築地小学校の児童であることが分かるように」等、多様な考えが出ました。その中の、「信頼される大人になるため」という考えが印象的で、多くの子どもたちから賛同を得ていました。「将来、社会に出た時、身だしなみが整っている人は周りから信頼される。それは、仕事にも良い効果が生まれるので、今のうちから身だしなみを整えることは、将来のためになる。」という内容でした。

「決まりだから守る」という意識も大切ですが、その決まりを守る意図について考え、納得できると、より周りの友達や自分のために行動できると思います。京橋築地小学校には「持ち物」「服装」「校内の生活」等、学校生活をより良くするための約束（京橋築地小学校のやくそく）があります。ぜひ、「なぜだろう」の視点をもってご家庭でも確認してみてください。

京築っ子の特別活動

特別活動主任 中西 美希

特別活動には、全校遠足や京築まつり、縦割り班活動のような学校全体で行う行事がありますが、日々の学級活動やクラブ・委員会活動など、全校でなくとも集団で行う活動も含まれます。

学級や他学年で行う集団活動を通して、自分が集団の一員であることやみんなで協力してよりよく活動していこうという意識などを児童一人一人が高められるよう行っています。

昨年度は、月に一回程度縦割り班活動を行いました。毎回、学年関係なく仲良く遊ぶ姿が見られました。上の学年の子たちは、下の学年の子どもたちが遊びの中に上手に入ることができているか、ルールをきちんと理解できているかなど、常に気を配り、優しく接していました。

今年度は、新型コロナウイルスの関係で昨年度と同じ活動は難しいですが、できる範囲の中で子どもたちが学べる場をつくっていきたいと思います。

学校給食について

栄養士 土井 彩

学校給食は、安全でおいしく栄養バランスのとれた食事を摂ることのみにとどまらず、先生や仲間との協同により楽しく心豊かな食事時間を共有することや、自然の恩恵と人々の労働への感謝の気持ちを養うこと、健全な食習慣や食生活への理解と判断力を養うことなど、子どもたちが将来にわたって健やかな暮らしを送るための力をつける学びの時間となることを目指しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、万全な衛生管理のもと、しばらくは献立内容を簡易なものとしませんが、給食が本来目標とする学びを念頭に、長期間の休業を経て新たに始まる学校生活を、食事を通して応援してまいります。